

発達障害における当事者研究の現状について

日時：2013年10月31日（木）18:00～20:00

場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンターカンファレンスルーム7D

東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員
綾屋紗月

専門家による アスペルガー障害の診断基準

- ・ 相互的社会関係能力の限界
- ・ コミュニケーション能力の限界
- ・ 想像力の限界（こだわりが強い）



本人の内面で起きている現象
というよりも、
外から判断しうる、みかけの特徴
に拠っていることがわかる。

診断名はついたけれど・・・

なぜコミュニケーションのすれ違いを
一方の障害のせいにするのだろう。

例：☆アメリカ人と日本人
☆聴者とろう者

コミュニケーションのすれ違いは
あくまでも
両者の「間」に生じるもの。

「社会性の障害」
という定義では
社会のほうにある原因を
問うことができない。

3

3

コミュニケーション障害？

コミュニケーション障害

活動レベルや社会参加における障壁
(disabilities)

聞こえない
(聴覚障害)

うまく動けない
うまく話せない
(脳性まひ)

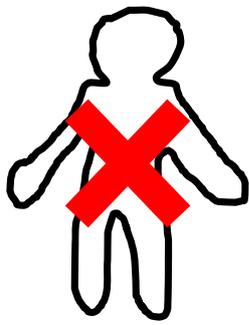
標準から外れた身体特性 (impairment)



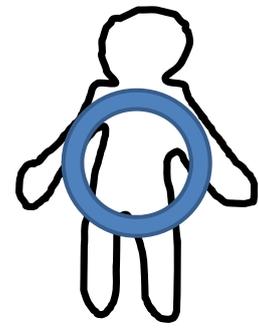
社会性
コミュニケーションの障害
(自閉症スペクトラム)

インペアメントとディスアビリティの混同は
障害学的には大きな問題

4

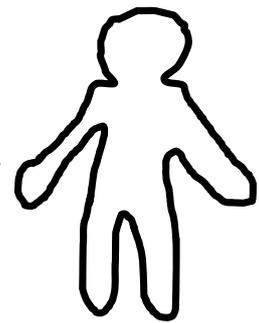
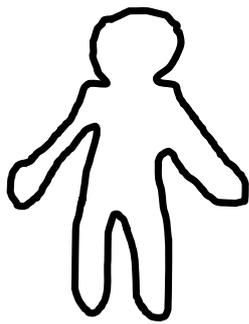


コミュニケーション障害の人



普通の人

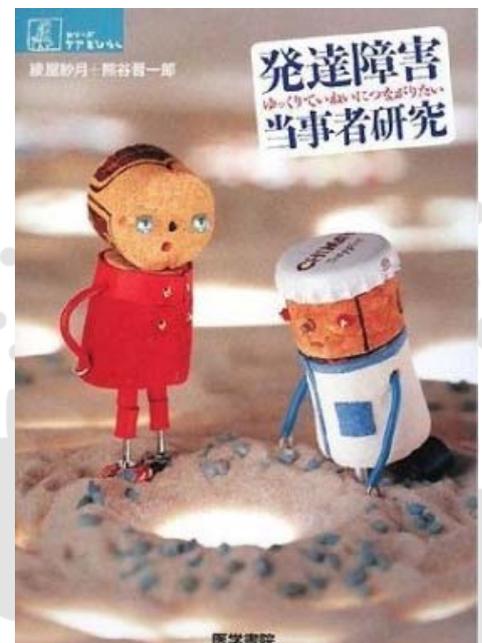
↑こうではなくて



↑こちらのはず

発達障害当事者研究を進める上で

- ① 「社会性の障害」
「コミュニケーションの障害」
からは出発しない。
- ② 知りたいのは「ASDとは何か」
ではなく、
個々人の体験を言い当てる言葉。



全体よりも部分にフォーカスした情報を たくさん摂取する

【綾屋の特徴】

身体内外にある数多くの情報が
次々に私の意識に届けられる。

たくさんの感覚情報を処理できず
頭を埋め尽くしてひどく苦しくなる。



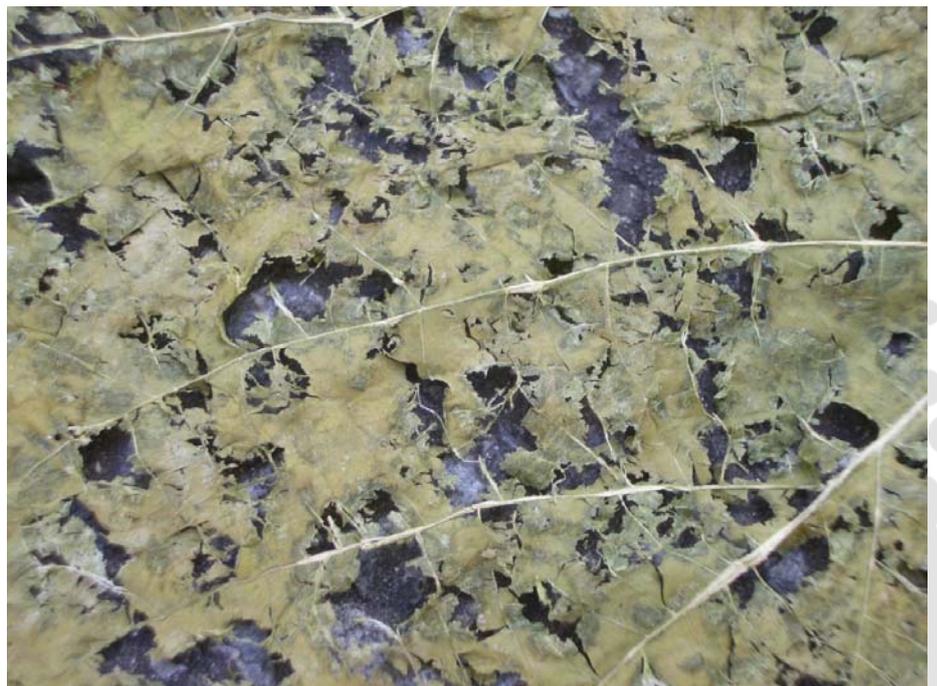
感覚飽和

7

フォーカス機能でみつける気持ち悪い模様



道端の枯れ葉



8

身体外部の刺激による感覚飽和 ～例：ファミレスで聞こえる音～

新しいお客さんが来た

び〜んぽ〜ん

女性の店員の声

女の子、1歳くらいかな。おかあさん優しいそう。

うわ! ラシド〜レ! 割れシソ〜 たっ!! ニ長調だな。

申し訳ございません!

ガッパ〜

ギャル語

ってか感じて〜ちょ〜信じられないってゆ〜か〜いやもうほんとマジでうざくない?

はい、みいちゃん、あ〜ん。あら、びーしちゃんだめでしょう。あむあむね〜。

部分に注目する特性： 「同じ」を「違う」と感じるすれ違い



【紫の雑草】



差異への気付きやすさ ≒似ているものを見つけやすさ

識字障害・・・欧文フォントが読めない

communication

「全体よりも部分にフォーカスした情報をたくさん摂取する」という特徴のため、一つのアルファベットを、縦線（|）や丸いカーブ（○）といった、各アルファベットに共通するいくつかの基礎的な模様に分けて見えてしまう。しかも、どの模様を抽出するかが高速で入れ替わるので、文字がちらつき一文字一文字を判別しづらい。
この現象が単語レベルだけでなく英文全体で生じるので、文字として読み続けようとしても、すぐに酔って気持ちが悪くなってしまふ。



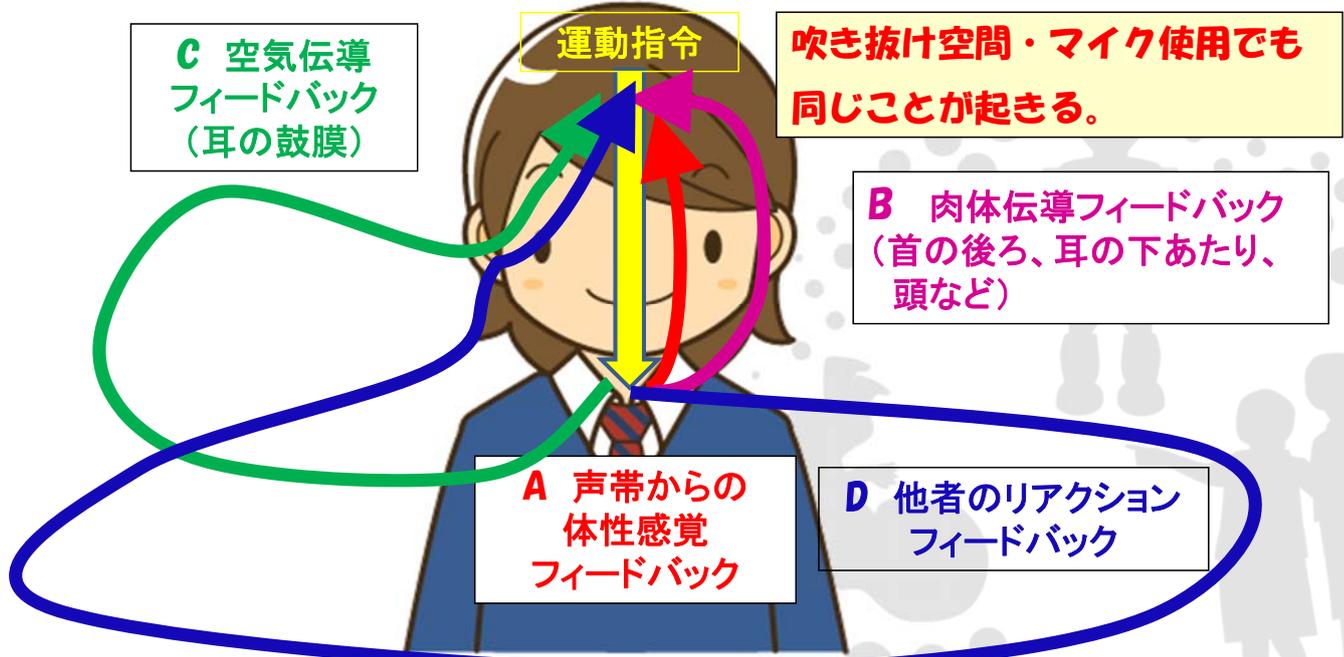
差異への気付きやすさ ≒似ているものを見つけやすさ



人の顔のパーツ同士を比べて「AさんとBさんは似ている」と言うので他者に共感されない。

どんどん声が大きくなる

自分の声のCがわんわんとうるさいので、負けずに大きな声で話すと、さらにCが増す⇒自分の声が聞こえない⇒さらに大声・・・とエスカレート。Dによってやめるが、関連性は無自覚なので何度も同じ指摘をされ、自信をなくす。



イラスト：わたなべふみ

なんとか他者像を追い払っても 自己像はからっぽ



自分の内面を表現する言葉を持っていない。

これまで聞いたことのある言葉の中に自分のことを表す言葉が見つからない。

⇒自分の感じている感覚があるのかどうか、自信が持てない。
表現したくても、もやもやするだけ。

なんとか他者像を押し返すが、だからといってはっきりとした自己像があるわけではない。

「自己像」には実体がなく、煙のようにもやもやしていてつかみどころも掘りどころもない感じ。
＝でもそれが戻るべき安定した、いつもの状態ではある

「自分らしく振る舞えばいい」と言われても、自分の動きやパターンが自分の中に見当たらない。

自己像が明確でないのですぐに他者像に侵入されてしまう。

ぐるぐる思考

なんで私はこんなふう
にダメなんだろう

あの相手の表情は
どういう意味だろう

相手の表情に対して
自分はどのように
ふるまえばいいだろう

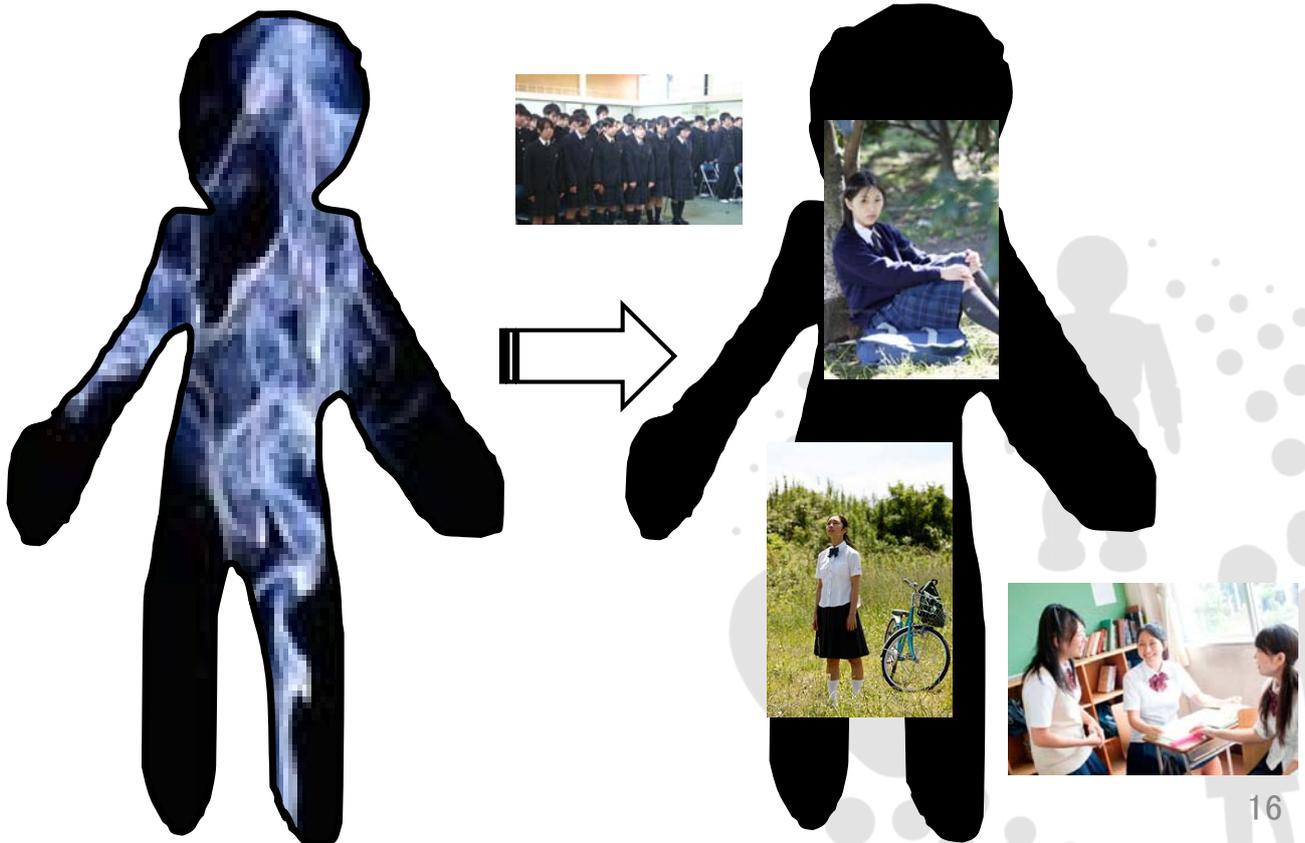
私の行動はあれで
よかったのだろうか



15

イラスト:わたなべふみ

当事者研究後 自己像と他者像の区別がつく



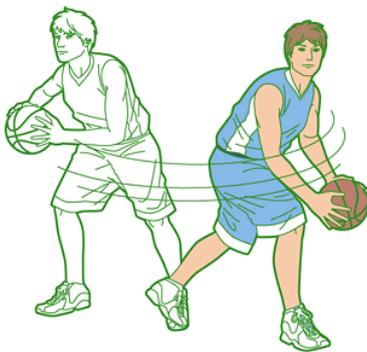
16

当事者研究がもたらした「自分の軸」

以前は他者に近づきすぎるか
まったく疎遠にするかの両極しかなかった。

しかし
当事者研究によって自分の軸が生まれる
ことにより、
バスケのピボットターンのように
気持ちの片足が一步、他者に近づいたり
遠ざかったりしても、
もう片方の足は軸として残っているので、
元の位置に戻ってくることが
できるようになった。

こうして徐々に他者と適度な距離を保てる
ようになっていくように感じる。



17

Alternative Space Necco (ネッコ)



「発達障害当事者による、
発達障害当事者のための」
就労支援施設。

就労継続支援B型事業所

「ゆあフレンズ」における
発達障害当事者の雇用促進、
精神保健福祉士による相談事業、
発達障害の当事者による
ピアサポートなどを行っている。

また発達障害者の居場所となるべく、
カフェ営業やフリースペース開放も
行っており、ライブ、トークショー、
講演会などのイベントも開催している。

18

発達障害コミュニティにおける問題点

発達障害者コミュニティにおける 問題点

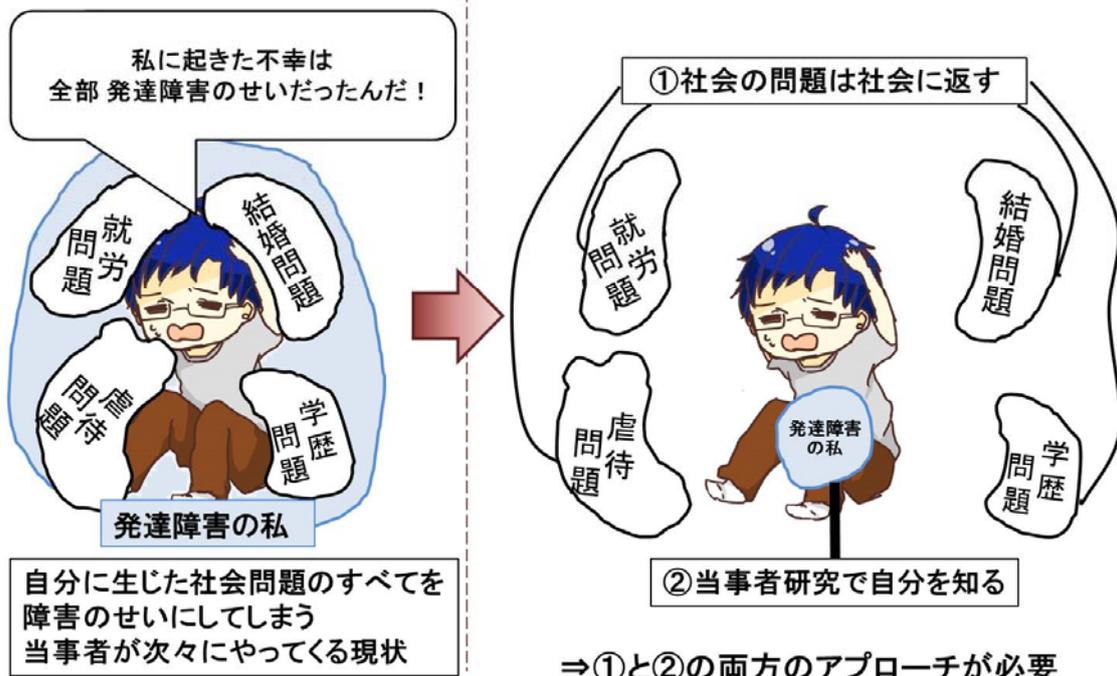


社会とのすれちがいを、
個人の側の特性によって記述する
発達障害概念
(社会性・コミュニケーションの障害)
によって、
教育、就労、司法、家庭など
さまざまな領域で社会的な排除を
されている人々が
十把一からげに
発達障害と名づけられている。

⇒当事者・支援者共に
ニーズを把握しづらい。

自分の問題と社会の問題とを切り分ける

自分の問題と社会の問題とを切り分ける



Necco当事者研究会（広める会） 初期設定のルール

Necco当事者研究会 ルール確認

図1

<p>OK ○</p>	<p>・飲み物 ・音やにおいが少ない食べ物 (キャンディ・おにぎり等)</p> 	<p>・部屋を出入りすること 遅刻・早退・ドタキャン・ エスケイプOK 無理をしない!</p> 	<p>・横になる・寝る ・ゆかに座る 無理をしない!</p> 	<p>・携帯でメールや ネットを見る</p> 
<p>NG ×</p>	<p>・においが強い食べ物 ・音がうるさい食べ物 ・アルコール</p> 	<p>・長く動き回り続ける ・騒ぐ</p> 	<p>・誰かの発言中に 話す</p> 	<p>・携帯で話す ・着信音をならす</p> 

21

「自分の実感を語る」ためのアナウンス

毎回の研究会の告知文（2011/8～）

自分の経験を言葉で語り、
仲間の言葉を互いに聞くことで 経験を共有し、
新たな表現方法を発見していきましょう。

自分の実感（感覚や体験）を語るとは？

過去の研究会の実践から

【あてはまると思われること】

- ・個人の中で反復していると思われること
- ・個人が経験した一回性のエピソード

【あてはまらないと思われること】（2013/6/3追加）

- ・専門家の知識（専門用語）
- ・複数の個人間（カテゴリー）で反復していると思われること
- ・他の参加者に対する分析・評価・解決策・アドバイス

22

Necco当事者研究会で大事にしていること

- **具体性**

情報をインプットする段階で記憶がまだらになりがちだったり、曖昧だったり、細かすぎたりするので、なるべく1次データを徹底的に出し合う。1次データを共有していただくだけでも、すれ違いの原因がかなりわかることが多い。

(飛躍した解釈によるすれ違い多数)

- **構造問題**

犯人を見つけて謝罪する責任問題ではなく、両者のあいだに起きたすれ違いの構造を見つけるのが目的。

- **共有性**

- ・「自分のことよりも他者のことのほうがよくわかる」ということもある。
- ・話し合いの内容ですら、後から「言った／言わない」の争いのもとになりがちなので、複数名で1次データを共有することが命綱。